

災害対策について「伴に」考える研究会

第19回定例会

東京オリンピック・パラリンピック開催を視野に入れ、健常者に限らず社会的擁護が必要な高齢者や障害者等、あるいは言語等外国人が抱える問題にも目を向け、

地域社会や地域住民の多様性や個々の特徴を把握・理解・尊重し、何より **命** を一義的に、災害対策の基本である安全・安心確保のための、

Health (**健康**)・Coexistence (**共存**)・Well-being (**幸福**) を意識した

「**地域に内在する多種多様なリスクを把握した上での医療・保健・福祉支援システム**」を協働で創ることを本研究の目的とする。

日時：平成30年9月4日(火) 開場：18時00分、開演：18時30分

会場：成城中学・成城高等学校(新宿区・指定避難所)、大会議室
新宿区原町3-87(都営大江戸線牛込柳町駅西口すぐ)

私立女子校の強みを活かした防災教育 —母子避難所を事例に—

目黒星美学園中学高等学校、教諭

京 百合子 先生

座長：内藤 俊夫(順天堂大学医学部総合診療科、教授)

★防災グッズ製作演習★

女子校生が考案した災害用携帯トイレ
を自分たちで作ってみましょう！



※ 新宿区・成城関係者、研究会・研究班メンバー、順天堂関係者、その他 (要申込)

共 催：新宿区成城学校避難所運営管理協議会、成城避難所女子会
災害対策について「伴に」考える研究会、順天堂大学医学部総合診療科

問合先：坪内 暁子、akiko@juntendo.ac.jp

(成城避難所女子会世話人/順天堂大学大学院医学研究科助教)

